



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月30日

上場会社名 株式会社日本M&Aセンター 上場取引所 東
 コード番号 2127 URL <https://www.nihon-ma.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 卓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長管理本部長 (氏名) 檜木 孝麿 (TEL) 03-5220-5454
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,697	29.1	3,896	51.0	3,928	51.5	2,681	31.4
2019年3月期第1四半期	5,964	△8.2	2,581	△28.7	2,592	△28.6	2,040	△24.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 2,632百万円(31.3%) 2019年3月期第1四半期 2,004百万円(△25.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	16.67	16.37
2019年3月期第1四半期	12.68	12.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	34,957	27,966	79.7
2019年3月期	35,638	27,264	76.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 27,845百万円 2019年3月期 27,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	11.00	—	12.00	23.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	11.00	—	12.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,200	12.7	6,750	△2.8	6,750	△3.0	4,560	△9.3	28.35
通期	32,400	13.8	13,500	7.7	13,500	7.7	9,120	2.8	56.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	163,855,200株	2019年3月期	163,855,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,002,368株	2019年3月期	3,002,368株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	160,852,832株	2019年3月期1Q	160,842,723株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、下記図表のとおり、前年同期実績を、営業利益で51.0%、経常利益で51.5%、親会社株主に帰属する四半期純利益で31.4%上回り、第1四半期における過去最高益を更新いたしました。

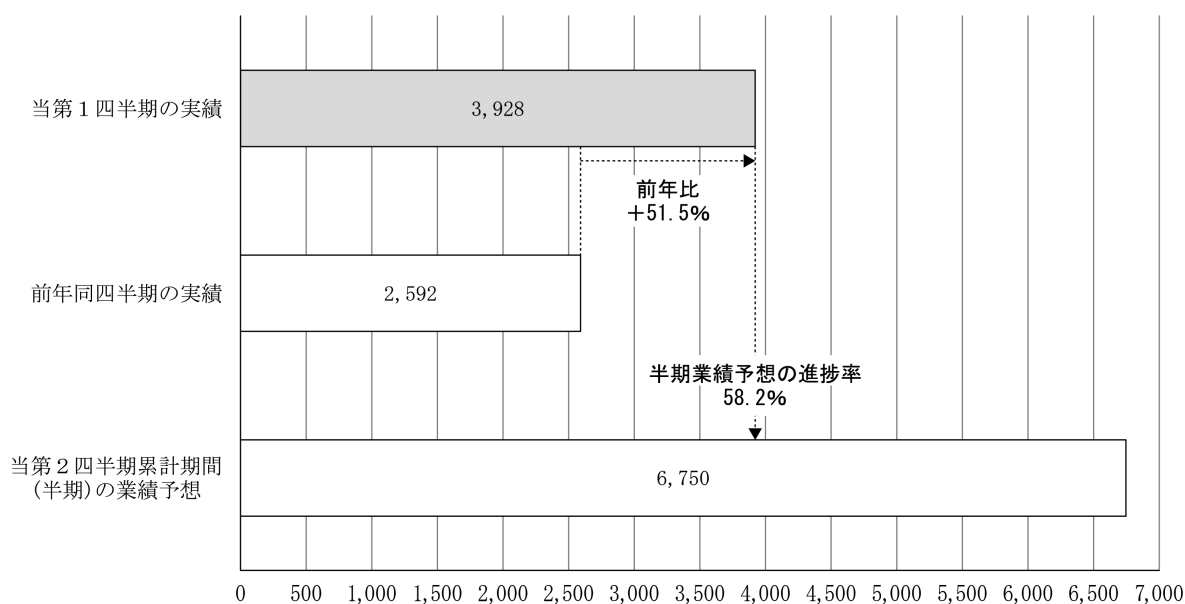
また、これらの実績は、半期の業績予想に対しても57.7%から58.8%の進捗率となり、当連結会計年度を順調にスタートすることができました。

当第1四半期連結累計期間において、当社グループは、四半期単位で過去最多となる234件（譲渡・譲受は別カウント）のM&A仲介を成約いたしました。これは前年同四半期の173件から61件（+35.3%）の増加となっており、引き続き好調な案件成約状況を維持しております。

	当第1四半期 の実績	前年同四半期 の実績	前年同 四半期比	当第2四半期累計期間 (半期)の業績予想	当第2四半期 累計期間(半期)の 業績予想の進捗率
売上高	7,697百万円	5,964百万円	+29.1%	16,200百万円	47.5%
営業利益	3,896百万円	2,581百万円	+51.0%	6,750百万円	57.7%
経常利益	3,928百万円	2,592百万円	+51.5%	6,750百万円	58.2%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,681百万円	2,040百万円	+31.4%	4,560百万円	58.8%

2020年3月期 第1四半期の連結経常利益

単位；百万円



当社グループは前連結会計年度より「2022年3月期までに連結経常利益150億円を達成」という新中期経営目標を掲げております。当連結会計年度は、この新中期経営目標を1年前倒しで達成すべく連結経常利益の通期業績予想値を135億円とし、これを着実に達成すべく当第1四半期連結累計期間より積極的な営業活動を展開いたしました。

当第1四半期連結累計期間における営業企画としましては、2019年6月に「沖縄エリア 経営者のための事業承継セミナー」を沖縄県の9会場にて開催いたしました。当セミナーは、当社グループの地方エリア戦略のスタートというべきセミナー企画であります。

当連結会計年度は、例年であれば東京、大阪、名古屋、福岡といった大都市圏のみで開催していた大規模セミナーを廃止し、それに代えて、各地方ごとにそのエリアを細分化し、その主要都市を連日、短期集中的にセミナー展開することといたしました。

それぞれの地域の金融機関、会計事務所や各種メディアの協力も得ることにより、各地域の特性に寄り添ったセミナ

一を開催し、より細かく地場の事業承継ニーズを汲み上げ、企業数や就業人口の減少に直面するそれぞれの地域経済の活性化に貢献しようとするものであります。

この地方エリア戦略は、次四半期以降、中四国・兵庫エリア、関東エリアと展開してまいります。

上記セミナーの他、M&Aを活用した成長戦略セミナー、ファンドを活用した海外進出セミナーといった特定のテーマに着目した各種セミナーや社長の奥様向けセミナー、社長のご子息・ご息女向けセミナーといったオーナー経営者以外の方を対象者としたセミナーも積極的に開催いたしました。

また、2019年6月に「全国金融M&A研究会」を開催し、地域金融機関の役員をはじめとして49行・115名の方々にご参集いただきました。

同研究会の中で、前事業年度におけるM&A協業実績が顕著であった地方銀行を表彰する「バンクオブザイヤー表彰式」を実施いたしました。今年度も全国を7つの地域ブロックに分け、各ブロックにおいて地域の経済活性化や雇用維持に最も貢献のあった地方銀行を「地域貢献大賞」として表彰させていただきました。今年度で7回目となる同表彰式は、地域金融機関のM&Aイベントとして定着し、そのプレゼンスの拡大により同表彰式の模様は多くのメディアに取り上げられることとなりました。

また、当社グループは一般社団法人金融財政事情研究会とともに事業承継・M&Aの専門家を養成する資格制度「M&Aエキスパート認定制度」を運営しております。2019年5月において当該認定制度における有資格者が27,000名を突破いたしました。

今後ともこのような活動を継続することにより、事業承継・M&Aの業務の認知度と信頼度を高め、当業界の裾野を拡大する活動にも尽力してまいります。

今後とも当社グループのメインフレームである中堅中小企業の「後継者難」や「先行き不安」を解決するためのM&Aのニーズは、少子高齢化や中堅中小企業をとりまく厳しい経済環境を背景に今後も拡大を続けるものと当社グループでは考えており、このニーズに応えるべく当連結会計年度においても積極的な営業活動を展開してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

純資産合計は、27,966百万円となり、前連結会計年度末に比べて2.6%の増加となりました。

① 資産の部

流動資産は、22,025百万円となりました。これは、現金及び預金が3,547百万円増加し、売掛金が986百万円増加したことなどによります。この結果、前連結会計年度末に比べて25.9%の増加となりました。

固定資産は、12,932百万円となりました。これは、長期預金が5,000百万円減少したことなどによります。この結果、前連結会計年度末に比べて28.7%の減少となりました。

これらにより、資産合計は、34,957百万円となり前連結会計年度末に比べて1.9%の減少となりました。

② 負債の部

流動負債は、5,117百万円となりました。これは、未払法人税等が1,224百万円減少し、未払費用が648百万円減少したことなどによります。この結果、前連結会計年度末に比べて21.3%の減少となりました。

固定負債は、1,874百万円となりました。これは、前連結会計年度末と同額となりました。

これらにより、負債合計は、6,991百万円となり前連結会計年度末に比べて16.5%の減少となりました。

③ 純資産の部

純資産合計は、27,966百万円となりました。これは、主として利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加額2,681百万円及び配当金の支払による減少額1,930百万円により、751百万円増加したことなどによります。この結果、前連結会計年度末に比べて2.6%の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月26日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,495,555	17,042,974
売掛金	2,049,067	3,035,333
有価証券	1,700,000	1,700,000
前払費用	200,286	206,361
その他	43,372	40,686
流動資産合計	17,488,282	22,025,356
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	324,442	324,914
その他(純額)	155,640	167,311
有形固定資産合計	480,083	492,226
無形固定資産	25,402	22,582
投資その他の資産		
投資有価証券	2,568,089	2,488,641
繰延税金資産	354,120	190,020
長期預金	14,000,000	9,000,000
その他	722,303	738,893
投資その他の資産合計	17,644,512	12,417,555
固定資産合計	18,149,998	12,932,364
資産合計	35,638,280	34,957,720
負債の部		
流動負債		
買掛金	423,988	693,311
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	1,000,000
未払費用	1,357,176	709,116
未払法人税等	2,343,921	1,119,648
前受金	114,188	89,974
預り金	190,790	345,815
賞与引当金	160,442	47,509
役員賞与引当金	—	94,000
その他	909,018	1,017,824
流動負債合計	6,499,526	5,117,201
固定負債		
長期借入金	1,500,000	1,500,000
長期未払金	374,441	374,441
固定負債合計	1,874,441	1,874,441
負債合計	8,373,967	6,991,643

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,383,090	1,383,090
資本剰余金	1,228,558	1,228,558
利益剰余金	29,203,235	29,954,415
自己株式	△4,962,165	△4,962,165
株主資本合計	26,852,718	27,603,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	291,018	241,803
その他の包括利益累計額合計	291,018	241,803
新株予約権	46,806	46,578
非支配株主持分	73,769	73,796
純資産合計	27,264,313	27,966,077
負債純資産合計	35,638,280	34,957,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,964,448	7,697,480
売上原価	2,274,499	2,641,551
売上総利益	3,689,949	5,055,929
販売費及び一般管理費	1,108,924	1,159,155
営業利益	2,581,024	3,896,773
営業外収益		
受取利息	75	97
受取配当金	4,042	4,581
持分法による投資利益	6,476	25,848
投資事業組合運用益	2,138	2,161
その他	901	758
営業外収益合計	13,633	33,447
営業外費用		
支払利息	1,975	1,410
為替差損	—	480
営業外費用合計	1,975	1,891
経常利益	2,592,682	3,928,329
税金等調整前四半期純利益	2,592,682	3,928,329
法人税、住民税及び事業税	329,490	1,061,085
法人税等調整額	222,405	185,802
法人税等合計	551,895	1,246,888
四半期純利益	2,040,786	2,681,440
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	26
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,040,786	2,681,414

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	2,040,786	2,681,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,359	△49,214
その他の包括利益合計	△36,359	△49,214
四半期包括利益	2,004,427	2,632,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,004,427	2,632,199
非支配株主に係る四半期包括利益	—	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。